

天本委員提出資料

- 自殺予防マニュアル
- 地域医療における自殺予防研修会プログラム
(平成19年6月23日(土))
- 地域医療における自殺予防研修会新聞採録
- 精神科七者懇談会シンポジウムプログラム

自殺予防

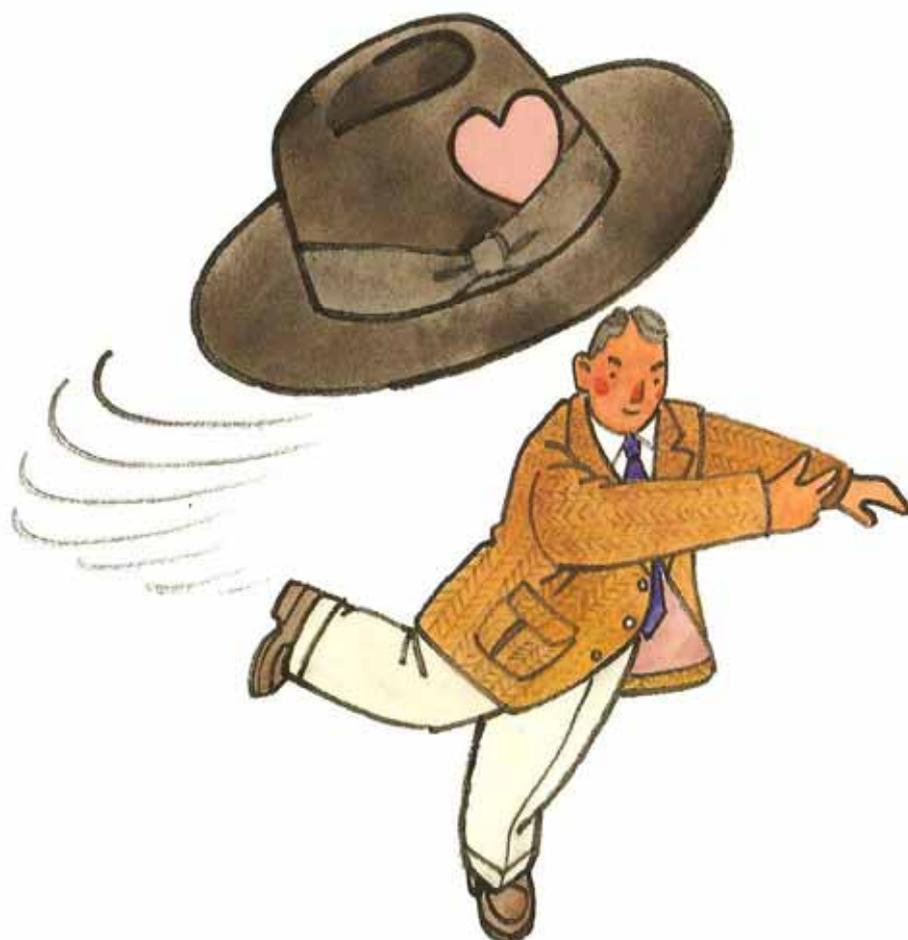
【第2版】

マニュアル

地域医療を担う医師への
うつ状態・うつ病の早期発見と対応の指針



社団法人 日本医師会 [編集] 西島 英利 [監修]



明石書店

地域医療における自殺予防研修会 プログラム

日時：平成19年6月23日（土）

10:00～16:00

場所：日本医師会館大講堂

司会：天本 宏（日本医師会常任理事）

1. 開 会（10:00）
2. 挨拶（10:00～10:05）
唐澤 祥人（日本医師会会長）
3. 来賓挨拶（10:05～10:10）
高橋 広幸（内閣府自殺対策推進室参事官）
4. 講 演（10:10～12:00）
 - （1）「自殺予防の基礎知識」
高橋 祥友（防衛医科大学校・防衛医学研究センター・行動科学研究部門教授）
 - （2）「プライマリ・ケアにおけるうつ病の診断と治療」
樋口 輝彦（国立精神・神経センター総長）
5. 昼 休 憩（12:00～13:00）
6. シンポジウム（13:00～15:30）
「それぞれの地域等における自殺予防の先駆的取り組みについて」
 - （1）熊本県における自殺予防への取り組み－くまもと自殺予防医療サポートネットワークを中心に－
中島 央（熊本県精神保健福祉センター所長）
 - （2）青森県における自殺予防の取り組み
渡邊 直樹（青森県立精神保健福祉センター所長）
 - （3）大阪における自殺予防活動
渡辺 洋一郎（社団法人大阪精神科診療所協会会長）
 - （4）防止可能なうつ病の自殺－うつ病専門病棟における治療実践
徳永 雄一郎（医療法人新光会不知火病院院長（福岡県））
 - （5）「いのちの電話における自殺予防」－電話相談、面接相談、ネット相談
齋藤 友紀雄（日本いのちの電話連盟常務理事）
7. 質疑応答（15:30～16:00）
8. 閉 会（16:00）

日本医師会主催 地域医療における自殺予防研修会

企画・制作 読売新聞東京本社広告局 広告

自殺予防はうつ病の正しい理解から



司会
日本医師会常任理事
天本 浩氏

自殺予防の重要性は、近年、日本医師会が「自殺対策基本法」に基づき、政府が推進すべき自殺対策の指針として「自殺総合対策大綱」を策定した。そこにおける医師の役割、および地域での自殺対策を講ずる研修会が、去る6月23日、日本医師会の主催で開催された。自殺予防のためには何が必要か、この研修会のレポートを読んで一人一人が考えたい。

平成10年以来9年連続で年間の自殺者が3万人を超えている。政府は自殺対策基本法に基づき、政府が推進すべき自殺対策の指針として「自殺総合対策大綱」を策定した。そこにおける医師の役割、および地域での自殺対策を講ずる研修会が、去る6月23日、日本医師会の主催で開催された。自殺予防のためには何が必要か、この研修会のレポートを読んで一人一人が考えたい。

予防・介入・事後対応が重要

自殺対策の重要性は、近年、日本医師会が「自殺対策基本法」に基づき、政府が推進すべき自殺対策の指針として「自殺総合対策大綱」を策定した。そこにおける医師の役割、および地域での自殺対策を講ずる研修会が、去る6月23日、日本医師会の主催で開催された。自殺予防のためには何が必要か、この研修会のレポートを読んで一人一人が考えたい。

講演1 「自殺予防の基礎知識」

自殺予防の重要性は、近年、日本医師会が「自殺対策基本法」に基づき、政府が推進すべき自殺対策の指針として「自殺総合対策大綱」を策定した。そこにおける医師の役割、および地域での自殺対策を講ずる研修会が、去る6月23日、日本医師会の主催で開催された。自殺予防のためには何が必要か、この研修会のレポートを読んで一人一人が考えたい。



高橋 祥友氏
結核医科大学校、結核感染症学研究所
結核感染症学センター
高橋 祥友氏

自殺予防の重要性は、近年、日本医師会が「自殺対策基本法」に基づき、政府が推進すべき自殺対策の指針として「自殺総合対策大綱」を策定した。そこにおける医師の役割、および地域での自殺対策を講ずる研修会が、去る6月23日、日本医師会の主催で開催された。自殺予防のためには何が必要か、この研修会のレポートを読んで一人一人が考えたい。

自殺予防の重要性は、近年、日本医師会が「自殺対策基本法」に基づき、政府が推進すべき自殺対策の指針として「自殺総合対策大綱」を策定した。そこにおける医師の役割、および地域での自殺対策を講ずる研修会が、去る6月23日、日本医師会の主催で開催された。自殺予防のためには何が必要か、この研修会のレポートを読んで一人一人が考えたい。



高橋 祥友氏
結核医科大学校、結核感染症学研究所
結核感染症学センター
高橋 祥友氏

自殺予防の重要性は、近年、日本医師会が「自殺対策基本法」に基づき、政府が推進すべき自殺対策の指針として「自殺総合対策大綱」を策定した。そこにおける医師の役割、および地域での自殺対策を講ずる研修会が、去る6月23日、日本医師会の主催で開催された。自殺予防のためには何が必要か、この研修会のレポートを読んで一人一人が考えたい。

自殺予防の重要性は、近年、日本医師会が「自殺対策基本法」に基づき、政府が推進すべき自殺対策の指針として「自殺総合対策大綱」を策定した。そこにおける医師の役割、および地域での自殺対策を講ずる研修会が、去る6月23日、日本医師会の主催で開催された。自殺予防のためには何が必要か、この研修会のレポートを読んで一人一人が考えたい。



高橋 祥友氏
結核医科大学校、結核感染症学研究所
結核感染症学センター
高橋 祥友氏

自殺予防の重要性は、近年、日本医師会が「自殺対策基本法」に基づき、政府が推進すべき自殺対策の指針として「自殺総合対策大綱」を策定した。そこにおける医師の役割、および地域での自殺対策を講ずる研修会が、去る6月23日、日本医師会の主催で開催された。自殺予防のためには何が必要か、この研修会のレポートを読んで一人一人が考えたい。

自殺予防の重要性は、近年、日本医師会が「自殺対策基本法」に基づき、政府が推進すべき自殺対策の指針として「自殺総合対策大綱」を策定した。そこにおける医師の役割、および地域での自殺対策を講ずる研修会が、去る6月23日、日本医師会の主催で開催された。自殺予防のためには何が必要か、この研修会のレポートを読んで一人一人が考えたい。

それぞれの地域等における自殺予防の先駆的取り組みについて

自殺予防の重要性は、近年、日本医師会が「自殺対策基本法」に基づき、政府が推進すべき自殺対策の指針として「自殺総合対策大綱」を策定した。そこにおける医師の役割、および地域での自殺対策を講ずる研修会が、去る6月23日、日本医師会の主催で開催された。自殺予防のためには何が必要か、この研修会のレポートを読んで一人一人が考えたい。

かかりつけの医師もうつ病診断の能力を

自殺予防の重要性は、近年、日本医師会が「自殺対策基本法」に基づき、政府が推進すべき自殺対策の指針として「自殺総合対策大綱」を策定した。そこにおける医師の役割、および地域での自殺対策を講ずる研修会が、去る6月23日、日本医師会の主催で開催された。自殺予防のためには何が必要か、この研修会のレポートを読んで一人一人が考えたい。

講演2 「プライマリ・ケアにおけるうつ病の診断と治療」

自殺予防の重要性は、近年、日本医師会が「自殺対策基本法」に基づき、政府が推進すべき自殺対策の指針として「自殺総合対策大綱」を策定した。そこにおける医師の役割、および地域での自殺対策を講ずる研修会が、去る6月23日、日本医師会の主催で開催された。自殺予防のためには何が必要か、この研修会のレポートを読んで一人一人が考えたい。

GlaxoSmithKline logo and slogan: "Do more, feel better, live longer".

GlaxoSmithKline advertisement text: "グラクソ・スミスクラインは、研究に基盤を置く世界をリードする製薬企業です。抗うつ剤、喘息治療剤、抗ヘルペス剤、片頭痛治療剤、抗アレルギー剤、消化性潰瘍剤などの革新的な医療用医薬品や「コンタック」「アクアフレッシュ」「ポリデント」などのコンシューマーヘルスケア製品を通じて、人々がより充実して心身ともに健康で長生きできるように、生活の質の向上に全力を尽くすことを企業使命としています。" and website information.

精神科七者懇談会

平成 19 年度
精神科七者懇談会 卒後研修問題委員会企画
シンポジウム

「うつ病と自殺に医師はどう対応するのか」
—医師臨床研修並びに生涯研修における精神科の役割—

日 時 平成 19 年 12 月 16 日 (日曜日) 午後 2 時～午後 5 時
会 場 日本医師会 大講堂
東京都文京区本駒込 2-28-16 TEL:03-3946-2121

主 催 精神科七者懇談会
後 援 日本医師会

「うつ病と自殺に医師はどう対応するのか」 —医師臨床研修並びに生涯研修における精神科の役割—

プログラム

- 14:00 開会挨拶 : 精神科七者懇談会 当番団体
(社)日本精神神経科診療所協会 会長 三野 進
- 来賓ご挨拶 : 日本医師会 会長 唐澤祥人

第1部

司会 : 天本 宏 (日本医師会常任理事)
司会 : 小島卓也 (日本精神神経学会 理事長
精神科七者懇談会 卒後研修問題委員会委員長)

- 14:05-14:25 「うつ病と自殺に医師はどう対応するのか」
—医師臨床研修並びに生涯研修における精神科の役割—
問題提起
シンポジスト : 関 健 (特別医療法人城西医療財団理事長・総長
精神科七者懇談会 卒後研修問題委員会委員)
- 14:25-14:45 「内科指導医・臨床医の立場から」
シンポジスト : 大和 真史 (諏訪赤十字病院副院長)
- 14:45-15:05 「精神科臨床研修で学んだこと」
シンポジスト : 牧野 祐子 (東京都立墨東病院)
- 15:05-15:15 <休憩>

第2部

- 15:15-15:40 「うつ病の診断と自殺の防止」
シンポジスト : 樋口 輝彦 (国立精神・神経センター総長)
- 15:40-16:05 「過労自殺の諸問題」
シンポジスト : 黒木 宣夫 (東邦大学医療センター佐倉病院教授)
- 16:05-16:30 「鬱病と自殺—市民の認識」
シンポジスト : 南 砂 (読売新聞東京本社編集委員)
- 16:30-17:00 総合討論